

「皆が笑顔の公園」を目指して

食とスポーツで育む地域の絆

多様性を尊重するインクルーシブ社会を目指すためのイベント「おおづインクルパーク」が9月29日に昭和園で開催されました。町の目指すインクルーシブ施策に共感した兵庫県明石市の青楓館高等学院と町内有志で作る実行委員会が共催、町が後援し実現したものです。園内を1日限りのインクルーシブパークと見立て、モルックやペタンク、車いすテニスなど障がいの有無に関わらず遊べるスポーツ体験などを実施しました。当日参加者は300人を超え、イベントを楽しみました。



①来場者混成チームでペタンク体験 ②多国籍料理が並び飲食ブース ③車いすテニスでは参加者同士の練習試合も

おおづオータムフェスタを開催

大津町商工会青年部が職業体験や飲食店を出展

町商工会青年部が主催する「おおづオータムフェスタ」が10月13日に大津中央公園で開催されました。青年部員を中心とした地域事業者や関連団体による職業体験などの体験ブースや展示ブースが並び、来場した子どもたちが楽しみました。また、やぐらからの餅まき、ダンスや大津太鼓などのステージもありました。同時開催した「大津夜市」の飲食ブースも立ち並び、秋の気持ちの良い気候の中、たくさんの人が集まりにぎわいに包まれました。



①「肥後大津駅にほしいもの」をアンケート ②キッチンカー ③町商工会青年部による餅まき

旭日単光章を受章

町議会議員として地方自治の振興に貢献

9月11日、安永美智男さんが高齢者叙勲として「旭日単光章」を受章しました。町議会議員を平成5年から12年間勤められ、その長年の功績が認められたものです。伝達式では勲章と勲記が授与され、金田町長が町への貢献に対しお礼の言葉を述べました。安永さんは、議員当時を振り返り、「このような叙勲を受章できたことを大変光栄に思います。これもひとえに支えていただいた皆さんのおかげです」と喜びと感謝の言葉を述べました。



賞状を手に持つ安永美智男さん(右から2番目)

台湾の文化に触れる

台湾文化交流コンサート in 大津町

9月21日、新竹交響管樂團、雲火 INFERNO 火舞團、清華大學A1樂團の3楽団による来日公演を開催しました。吹奏楽による迫力満点の演奏と、バリトン歌手・ソプラノ歌手の洗練された歌声、LEDライトで装飾された華やかな衣装を身にまとったダンサーらが観客を魅了しました。また、公演で使用する楽器をお借りしたご縁で大津高校吹奏楽部も出演し、台湾の楽団とのコラボ演奏も行われました。台湾の文化と魅力に溢れる素晴らしい公演となりました。



台湾民謡やポップソングの吹奏楽による演奏や演舞などが披露されました

地震から1日でも早い復興を

台湾東部沖地震への災害義援金贈呈式

10月7日、4月に発生した台湾東部沖地震の災害義援金を町企業連絡協議会の松島会長から台北駐福岡経済文化辦事處の陳處長へ贈呈しました。今回贈呈した義援金は、町企業連絡協議会会員に支援を呼びかけ、535,000円の寄付が集まったものです。

松島会長から「会員の皆さんから贈られた善意です。地震からの復興にお役立てください」と義援金を贈ると陳處長は感謝状を手渡し、お礼を述べました。



義援金を受け取る台北駐福岡経済文化辦事處 陳處長㊤

腕と心に熱い思いを

アームレスリング世界大会出場選手が表敬訪問

ギリシャで開催された第5回 IFAアームレスリング世界選手権大会に出場し、4位に入賞した堀江裕樹選手が10月18日に役場を訪れ、結果を報告しました。堀江選手はこれまでにJAWA全日本アームレスリング選手権大会で2度の優勝を飾り、今回初めて世界大会に挑みました。「世界大会では全力で挑みましたが4位という結果でした。来年ラスベガスで開催される世界大会では優勝を目指しています。これからも練習に励みます」と述べ、町長は堀江さんに激励のメッセージを送りました。



世界の實力を見せつける堀江裕樹選手㊤とそれを肌で実感する金田町長㊤

企業活動へ活かすために

町企業連絡協議会・大津あけぼの会合同会員研修会

9月25日、大津町企業連絡協議会と大津あけぼの会合同で会員企業向け研修会が開催されました。今年は「TSMC進出に伴う熊本の経済動向と可能性について」をテーマに講演をいただき、およそ100人の会員企業などが参加しました。参加者からは「経済の動向や熊本県の取り組み状況を学ぶことができ、有意義な研修であった」との声がありました。今後も各団体活動の中でTSMC進出を契機とした地域の活性化などについて取り組みを継続されます。



「最近の熊本経済について」語る田原日本銀行熊本支店長㊤と東京から見える大津町への期待を話す内藤熊本県東京事務所長㊤

社会参加活動として全国に

真木元氣塾が内閣府の令和6年度社会参加章受章

地域で社会参加活動を積極的に行っており、広く全国に紹介することがふさわしいと認められる高齢者のグループなどを内閣府が募集し、真木元氣塾が社会参加章を受章しました。真木元氣塾は、「いきいき百歳体操」を中心に趣向を凝らした取り組みや専門職による健康相談などを行っています。また、新型コロナウイルス感染症感染拡大時には、地域の高齢者などの予防接種をオンラインにより代行予約するなど「地域の拠点」「福祉の拠点」として中心的役割を担っています。



受章の報告に表敬訪問された真木元氣塾 松下省子代表(前列右から2番目)と真木元氣塾の皆さん